抗酸菌塗抹	8201000
	担当部署
ｺｳｻﾝｹｲｺｳ	微生物

検査オーダー

患者同意に関する要求事項		患者自身が採取する場合は良質の検体が採取できるように適切な採取・保存方法を十分に説明し協力を求める
オーダリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*9.抗酸菌→
	2	
	3	
	4	
	5	
検査に影響する臨床情報		塗抹検査では結核菌とそれ以外の抗酸菌との区別はできない。抗酸菌以外にも抗酸性を有する菌が存在する（Nocardia、Rhodococcus など） 「臨床微生物検査ハンドブック　第 5 版　2018 年」
検査受付時間		8：15～16：00

検体採取・搬送・保存

患者の事前準備事項	1.喀痰 唾液や鼻汁の混入を最小限にするために、可能な限りうがいを施行した後に採取する。 2.その他の材料 特になし
検体採取の特別なタイミング	汚染しないよう無菌的に採取する。

検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	他材料	喀痰容器	なし	***	なし
2	他材料	滅菌スピッツ	なし	***	なし
3	他材料	採便管	なし	***	なし
4					
5					
6					
7					
8					

検体搬送条件	室温 採取後直ちに提出
検体受入不可基準	1.検査ラベルがない検体

	2.乾燥した検体 3.指定容器以外で採取され提出された検体 4.保存・搬送中に容器が破損した検体
保管検体の保存期間	2 週間（再検査・追加検査は要連絡）

検査結果・報告

検査室の所在地	病院棟 3 階　中央検査部
測定時間	1～2 日
生物学的基準範囲	陰性（－）
臨床判断値	該当なし

基準値				単位	なし
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値
設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし

パニック値	高値	該当なし
	低値	該当なし
生理的変動要因		該当なし
臨床的意義		検体中の抗酸菌の有無、菌量を調べる。 塗抹検査では菌種の判別は行えないため、ほかの検査情報などと総合的に判断したうえで、結核においては入院、通院治療の重要な判断材料、接触者への感染リスクの評価、患者自身の治療経過の評価、退院時期の判断に、非結核性抗酸菌においては診断基準に供する。 「抗酸菌検査ガイド 2020　2020 年」